

障がい者支援課

3年度当初予算額	114,048千円	国補 : 26,155千円 国委 : 3,200千円 繰入金 : 24,652千円 一般財源 : 60,041千円
2年度当初予算額	113,128千円	国補 : 19,869千円 国委 : 3,200千円 繰入金 : 19,336千円 一般財源 : 70,723千円

1 目的

東京2020パラリンピック、2028年全国障害者スポーツ大会の本県開催を契機として、障がい者スポーツの理解促進や競技力の向上、誰もがスポーツを楽しめる環境の整備などを図るとともに、スポーツを通じた交流の促進など共生社会実現に向けた取組を強化する。

2 事業内容

区分	事業内容
理解促進 ・機運の醸成	<p><b>障がい者スポーツの理解促進や誰もが身近な場所でスポーツを楽しむことができる環境づくり、文化づくりを推進</b> 36,622千円</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>誰もが参加できるボッチャ競技大会の開催（地区大会及び県大会）</li> <li>東京2020パラリンピック聖火フェスティバル開催事業（8/12～8/16）</li> <li>スポーツを通じた共生社会づくりの取組を県民や企業に浸透させるための発信力強化</li> <li>（新）学校や地域等で競技用車いすを体験できるパラスポーツを学ぶプログラムを提供し、パラスポーツや障がいについての学びを支援</li> <li>（新）パラリンピックの意義やパラスポーツの持つ力、障がい者について気軽に誰でも一緒に参加して学ぶイベントを開催（10月）</li> <li>障がい者施設や団体等からの依頼に応じて、総合型地域スポーツクラブの指導員や障がい者スポーツ指導員等を派遣</li> <li>地域の障がい者、障がい者スポーツ関係者、一般競技団体等を繋ぐ調整役を県障がい者スポーツ協会へ配置</li> </ul>
選手発掘 ・競技力強化	<p><b>2028年全国障害者スポーツ大会開催を見据えた県内若手選手の発掘、育成及び競技団体の強化などを支援</b> 38,419千円</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>障がい者スポーツに精通した者を専任で配置して、特別支援学校等での体験会等を通じ、潜在能力のある選手候補を発掘</li> <li>県内有力選手の大会や強化合宿の参加経費や競技用具購入費用を支援</li> <li>競技団体の行う練習会や講習会、大会の開催経費等を支援</li> <li>競技団体強化に向けた指導者養成のための研修会を実施</li> <li>全国障害者スポーツ大会及び地区予選会への選手派遣 中止</li> </ul>
機会の提供	<p><b>競技大会開催を通じてスポーツの楽しさを体験する機会を提供するとともに、県民理解を深め、障がい者の社会参加を促進</b> 17,181千円</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>障がい者スポーツ大会（10地区大会及び県大会）（5月～9月）中止</li> <li>長野車いすマラソン大会（4月）中止</li> </ul>
活動支援	<p><b>県内の障がい者スポーツ競技団体を統括する長野県障がい者スポーツ協会の活動を支援</b> 21,826千円</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>人件費及び運営費を補助</li> </ul>

# 全国障害者スポーツ大会の概要

## 1 主催

(公財)日本障がい者スポーツ協会、文部科学省、開催地都道府県、市町村、その他関係団体（開催地主催者代表は、都道府県）

## 2 目的

障がいのある選手が、障がい者スポーツの全国的な祭典であるこの大会に参加し、競技等を通じ、スポーツの楽しさを体験するとともに、国民の障がいに対する理解を深め、障がい者の社会参加の推進に寄与する。

## 3 開催期間及び開催地

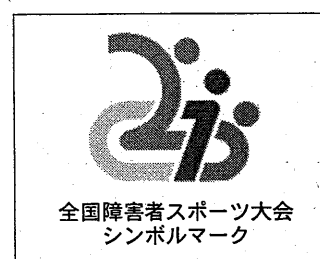
国民体育大会本大会の直後を原則として、当該都道府県において3日間で開催する。(例年、概ね10月中下旬)

## 4 参加資格

13歳以上の身体障がい者、知的障がい者、精神障がい者

## 5 大会規模

約6,000人（選手 約3,500人、役員 約2,500人）



## 6 実施競技及び2028年会場地選定状況

No	区分	競技名	障害区分			市町村名	選定状況	大会参加選手数 ※2019茨城大会
			身体	知的	精神			
1	個人競技	陸上競技	○	○	—	松本市	第1次	1,050人
2		水泳	○	○	—	長野市	第1次	318人
3		アーチェリー	○	—	—	佐久市	第1次	58人
4		卓球	○	○	○	岡谷市	第1次	417人
5		フライングディスク	○	○	—		調整中	407人
6		ボウリング	—	○	—	長野市	第1次	172人
7		ボッチャ ※2021三重大会より実施	○ 重度	—	—	千曲市	第3次	約140人
8	団体競技	バスケットボール	—	○	—	長野市	第1次	159人
9		車いすバスケットボール	○	—	—			67人
10		ソフトボール	—	○	—	伊那市	第1次	99人
11		グランドソフトボール	○	—	—			103人
12		フットベースボール	—	○	—			98人
13		バレーボール		○		安曇野市	第2次	144人
					○	松本市		139人
				○	大町市	78人		
14		サッカー	—	○	—	松本市	第2次	108人

凡例) ○: 競技あり、—: 対象競技なし

※ 身体障がい者は身体障害者福祉法に基づく身体障害者手帳を、知的障がい者は厚生事務次官通知による療育手帳を、精神障がい者は精神保健法及び精神障害者福祉に関する法律に基づく精神障害者保健福祉手帳の交付を受けた者。

# 障がい者スポーツ地域コーディネーター設置事業

障がい者支援課

## 1 目的

2021年に延期となった東京パラリンピックのムーブメントを活用し、障がい者スポーツの振興を図るため、地域のスポーツ活動を牽引する「地域コーディネーター」を設置し、地域における持続可能な障がい者スポーツの推進体制を整備する。

## 2 地域コーディネーターの必要性

- ・一般スポーツは、「スポーツの振興」を目的に県、市町村、県スポ協、郡市スポ協等が連携して推進。
- ・一方、障がい者スポーツは、「障がい福祉」の一環として県、市町村、障スポ協等が取り組んでいるが優先順位は低く低調。特に地域では推進体制がなく、一般スポーツ界を巻き込む仕掛け者も不在。

## 3 地域コーディネーターの活動について

- (1) 設置人員 1名
- (2) 事業主体 県障がい者スポーツ協会（補助事業）
- (3) 資格等 障がい者スポーツ指導員の有資格者、特別支援学校経験教員OB、体育教員OB等  
(障がい者スポーツへの熱意、コミュニケーション力、マッチング力、行動力、一般スポーツ経験など)
- (4) 設置場所 拠点を長野県体育センターに置き、県内を巡回
- (5) 業務内容

内 容		2021の目標
実態を知る 地域の	<b>《地域の実態と課題の把握》</b> <ul style="list-style-type: none"> <li>・障がい者福祉施設訪問による情報把握、相談</li> <li>・スポーツ施設での受入状況、利用の壁把握</li> <li>・地域のスポーツイベントの把握</li> </ul>	◇各種イベントの参加者数 前年度以上 (26,627人)  ◇一般スポーツ界への波及 組織の5割以上で取組 ① 総合型クラブ (14⇒34クラブ) ② スポーツ推進委員 (18⇒40市町村)
開拓する つなぐ	<b>《一般スポーツ界と障がい者スポーツ界のマッチングと開拓》</b> <ul style="list-style-type: none"> <li>・障がい者受入団体の開拓や作るための支援</li> <li>・地域の支援者ネットワークづくり</li> </ul>	
具現化する	<b>《確かな一歩（実績）を作り出す》</b> <ul style="list-style-type: none"> <li>・必要な者に必要な情報を届ける。(スポ協HP等での公表)</li> <li>・圏域単位でのモデル的な事例づくり、紹介</li> </ul>	

# みらいアスリート育成支援事業

## (未来を担う選手の発掘・育成のための支援事業)

### 1 目的

2028年に本県で開催予定の全国障害者スポーツ大会（全障スポ）で、本県選手が活躍するために、選手発掘及び競技力向上は急務であり、大きな課題である。

選手の競技力を向上させ、長野県選手が2028年の全障スポで好成績を残すためには、地域に埋もれている才能あるアスリートの発掘・育成を行う必要がある、同時に、競技団体の活動強化により競技環境の整備を図っていく必要がある。

### 2 実施主体

公益財団法人長野県障がい者スポーツ協会

### 3 事業内容

#### (1) 概要

○障がい者スポーツに精通した「みらいアスリートディレクター」を体育センター（松本市）に設置し、「みらいアスリート」の発掘、スポーツを継続するための支援や競技団体へ支援などを実施

○ディレクターは特別支援学校等へ出向いてパラスポーツの体験会等を開催し、パラスポーツ活動に興味がある、意欲、潜在力のある子どもを発掘

○発掘した「みらいアスリート」に対しては、既存の障がい者スポーツ地域コーディネーターと連携しながら、更なる競技レベル向上に向けた情報提供や指導者とのマッチング、競技団体への紹介や地域スポーツクラブ等との連携により競技活動の場を提供

○これにより、県内競技人口の増加、選手の競技レベルの向上、未設立競技団体の新たな立ち上げ、既存団体の活性化、ひいては全障スポ長野県大会での本県選手の活躍に繋げる

#### (2) みらいアスリートディレクターの設置

2名（令和2年度は、新型コロナウイルス感染症の影響により1名配置）

将来的には、県内で幅広く活動するために複数名のディレクターを特別支援学校内等にも設置し、東北信、中南信などの担当エリアを決め、重点的な活動を実施

#### (3) みらいアスリートディレクターの活動内容

##### ①パラスポーツ体験会の実施 【アスリートの発掘】

- ・特別支援学校や一般学校等の課外授業としてパラスポーツの体験会を実施
- ・障がい者スポーツ指導員やスポーツ推進員、総合型地域スポーツクラブ、競技団体等と合同で体験会に出向き、アスリートの発掘を行う

##### ②地域コーディネーターや競技団体への橋渡し 【アスリートへの支援】

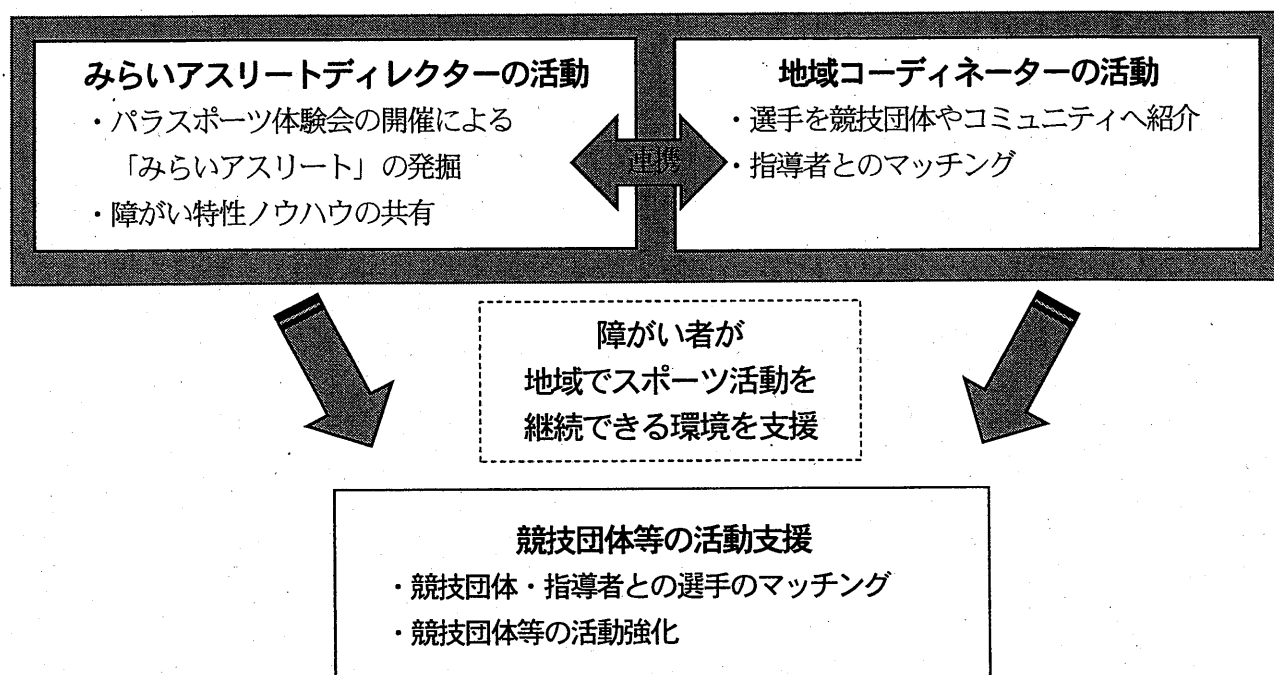
- ・体験会でパラスポーツに興味を持った子どもの情報を学校から収集し、地域コーディネーター等へ情報提供
- ・地域コーディネーターは、競技団体や指導者（障がい者スポーツ指導員、スポーツ推進員）、総

合型地域スポーツクラブとのコネクションを活用し、発掘した子どもが競技活動をする場や指導者を紹介

### ③選手と競技団体を繋げる【競技団体への支援】

- ・競技ノウハウを持つ一般スポーツ競技団体と障がい特性やパラスポーツのノウハウを持つディレクターが連携し、全障スポへ向けた競技団体の支援を行う

#### 〔取組イメージ〕





## スポーツを通じた共生社会づくりを目指した教育プロジェクト「パラ学」が始動します

長野県では、スポーツを通じた共生社会創造プロジェクト「パラウェーブNAGANO」の取組の一環として、児童の「多様性」と「しなやかな心」を育むことを目的とした教育プロジェクト「パラ学」を始めます。

このプロジェクトは以下のとおり長野市立松代小学校からスタートし、今後県内の学校への普及を進めていきます。

### 1 パラ学とは

県内の学校に対し、県独自のパラスポーツ体験型授業の提供のほか、パラリンピック教育教材やパラスポーツを題材にした各種プログラムの紹介を行う事業です。

※詳細は添付の資料をご参照ください。

### 2 長野市立松代小学校の授業での活用

#### (1) 『I'mPOSSIBLE』日本版（国際パラリンピック委員会公認教材）を活用した授業

- ・日 時 令和3年7月8日（木） 10時35分～11時20分
- ・場 所 長野市立松代小学校（長野県長野市松代町松代205-1） 5年1組教室
- ・実施者 長野市立松代小学校の担当教諭

※『I'mPOSSIBLE』日本版とは、パラリンピックを題材に共生社会への気づきを子どもたちに与える教材です。担当教諭が教材を活用して授業を実施します。（2）車いすポートボールゴールチャレンジの事前学習として用います。

#### (2) 車いすポートボールゴールチャレンジ（県独自のパラスポーツ体験型授業）

- ・日 時 令和3年7月14日（水） 10時25分～12時10分  
（事前説明10時25分～、1回目チャレンジ11時00分～、作戦会議11時20分～、2回目チャレンジ11時25分～、講師による振り返り11時40分～）
- ・場 所 長野市立松代小学校 体育館
- ・学 年 5年生
- ・実施者 長野県
- ・講 師 加藤 正 氏（県内在住、パラリンピアン）

※パラリンピアンが講師を務める、競技用車いすを利用したパラスポーツの体験型授業です。事前学習したことを、パラスポーツ体験を通じて楽しみながら深めます。

### 3 取材を希望する方へ

授業の取材を希望される方は、別紙の取材申請書を以下の宛先まで提出してください。

- ・宛 先 長野県健康福祉部 障がい者支援課 田嶋、金井宛
- ・送付先 メール：parawave@pref.nagano.lg.jp FAX：026-234-2369



しあわせ信州創造プラン2.0（長野県総合5か年計画）推進中

パラウェーブNAGANOは、2018年6月に長野県が（公財）日本財団パラリンピックサポートセンターと締結した「スポーツを通じた共生社会の創造に向けた連携・協力に関する協定」に基づいて実施する協働プロジェクトです。

参考：https://www.parasapo.tokyo/topics/7882



健康福祉部障がい者支援課 障がい者スポーツ支援係  
 （課長）高池 武史 （係長）田嶋 弘之  
 （担当）金井 大地  
 電 話：026-235-7108（直通）  
 026-232-0111（代表）（内線2398）  
 F A X：026-234-2369  
 E-mail parawave@pref.nagano.lg.jp